

あおぞらだより

第137号 (発行/平成26年10月)

職員研修会

秋まつり

苦 勞

江戸川病院院長 新村ヨシオ



苦勞とは苦しみ疲れることとある。心身に負担を強いられるため、身体や精神的に疲弊する。苦痛を伴うことも多く、できれば回避したいことである。一般的に親からは「苦勞は買ってでもしろ」と教えられ続けてきたし、社会に出れば上司にも異口同音に言われる。苦勞の内容は未経験なことが多く、直面した者は逡巡するのも当然と思われる。達成すべき目標が高ければ一生苦勞は付きまとう。「末は博士か大臣か」と志を高く持つことを教育され、「少年よ大志を抱け」と指導され、立身出世した人の伝記を読破することを薦められた。

顕著な活躍や善行すれば表彰して、更なる努力を期待し、駆り立てさせる社会であった。質実剛健、文武両道と優等生を評価する潮流があり、思春期には精神的自立を求められていた。自己実現しようとするれば、自ずと努力しなくてはならず勉学や運動にも苦勞することは当然であった。社会人なり右も左も分からないことが多く、初体験の中には逃げ出したくなることもあって、心身に変調をきたしたこともあっても助け舟はなかった。今を幸福に迎えられている人は、運も良く苦勞を克服してきたからと思われる。

(…次ページに続きます。)

苦労感は個人差がある。勉学や運動に秀でる人は、苦手意識も無いので困難さは感じない。大きな目標を立て、文武とも興味があって、結果も良ければ、良い評価が得られるし、一層自己を駆り立てられる。それでも不調に陥ったり、壁に当たったりすると、心が萎えて挫折することもある。その壁を乗り越えるには、これまでの努力では不足なので、決意を新たにしていって取り組んでいくことになる。道が開け好結果を得られれば、山や谷と言えども踏破できる。成功体験は何よりも力になるので、苦労というより自信に繋がっていく。勉学では受験戦争に勝って有名校に、運動にしても一流校に進学できて、能力が開花すれば日本を背負う活躍と名声を得られる。ここまでにはほんの一握りの人しか存在しないが、達成者は想像を絶する苦労を経験するのである。社会に出れば人間関係という難問が待っており正解はなく一生苦労していくことになる。

苦労しても結果が吉と出るとは限らない。世代によって苦労の内容が変わる。学生時代には知識や体力をつけ、人間形成の基礎を経験するなど深刻な葛藤はないが、成人にして社会に出れば仕事や人間関係に軋轢が生じ始める。競争社会であるため、淘汰される対象にならぬようにと必死になっており、自身は会社内でも人間模様に苦労することになる。不景気な世の中は4半世紀も続いており、会社の業績が落ちては縮小、そして吸収合併と不安定な社会になっている。人員整理という残酷な処遇をいつ告知されるか不安を抱きながら働くという重圧を受けることが多い。苦労をストレスになるかは本人の解釈にもよる。試練と考えれば前向きになるし、先が見えるような気がする。忍耐する力にもなるし、自我を強化してくれる。さまざまな苦労を経験することにより世間を知り、客観的な対応が可能になってくる。

苦労を回想と、自身が医師になってからである。周囲の先輩を見てもさりげなく机に向っており、自身も自然に引きこまれ発表・講義・学会などの準備で医学の深さに驚き自然に勉強するようになったが、研究の量と質には苦労した。しかし、新知見に喜びと感銘をうけ、理解が深まり、興味を覚えるようになり人生のなかで学問は苦労にならなくなった。苦痛だったものが自身に安心を与えるようになってきた。42才になり転機が訪れ、大学から自身の父が経営していた病院に戻ってきた時から、これまで経験もしなかった苦労が待ち受けていた。財務・人事・庶務をはじめ病院運営や管理の困難さに直面させられ、見当もつかないことばかりであった。発展のためと借金して2つの病棟を増設し機能回復訓練室を建築したりと苦労を背負い込んだ。当時は若さもあり、苦労とは思わなかったが、今となっては加齢や医療制度の改悪で重荷になってきた。でも、社会は激しく動いており、次の一手を考えなくてはならず、更なる苦労を覚悟している。人生の8～9割は苦労との付き合いと思っている。医師の使命は一生勉学であるが、高齢者になり、学問の進歩に追いつけず、最大の苦労に直面している。

職員研修会

今年度4月よりユニチャーム排泄ケア、接遇(ひとりの心を見つめるケア)、院内感染、医療安全(バーチャルセデーション)、排泄現場指導、統合失調症、スキンケアの研修を行っております。

職員が講師であったり或いは内容により外部講師であったり、様々な沢山の協力をいただき職員研修への参加率・レビューの提出率を上げる対策、職員の次回への意欲期待などを聞き、院内研修を立案し学びの場を設け毎月実施することが出来ました。外部講師より「実は以前研修依頼があっても足が重かったの。職員の表情も明るく変わった」「以前の研修参加職員が十数名だったのに百名を超える参加人数を前回の研修担当者が驚いている」等々うれしい言葉をたくさん聞くことが出来ました。

研修終了後の研修レビューには一人ひとりの「そうなんだー」「へえー」「あっそうそう」と感想・意見など殆どの職員が記入し、また、そのレビューを共有することで新たな学びもあります。

このような江戸川病院の職員として共に学ぶことが出来ることを嬉しく思います。今後も楽しく学ぶ事の出来る場に、外部講師の皆さんの熱い協力のもと充実の研修を継続していきたいと考えております。

看護部長 関恵美子



入職者紹介

看護師:高橋みき子、関根剛志、上田中トキ子

看護助手:今野和子、齋藤真由美

よろしくおねがいします☺

秋まつり





平成26年9月12日、13日2日間にわたり秋祭りが開催されました。紅白幕、やぐら、ちょうちんが飾られた会場に足を運ぶと、患者様職員とも目をきらきらと輝かせていました。みなさん浴衣やはっぴを身にまとい、円になり炭鉾節や東京音頭など踊られています。手作りのミニ竿灯、2基の神輿も活躍していました。デイケア協力の魚釣り、レク委員協力のボーリング、お菓子つかみ取りもあり、楽しむことが出来ました。

○ 今月の脳トレ ○

難読漢字検定(野菜編)～なんて読むでしょう～

- ①蕪 ②青梗菜 ③隠元豆 ④牛蒡
⑤大蒜 ⑥法蓮草 ⑦蕃茄 ⑧和蘭芹

答えはこのページの下にあります。

江戸川病院 2014年10月 院内行事予定

♪誕生会♪ おめでとうございます!!

1・2・3棟	10月11日(土) AM9:30～	ひまわり
桃 源	10月11日(土) PM2:00～	D棟訓練室
◆さくらんぼシアター◆	10月14日(火) PM2:00～	ひまわり
デイケア・3-2合同レク	10月21日(火) PM2:00～	

秋の味覚 さつまいも

さつまいもには食物繊維が多く含まれ、便秘改善に良いだけでなく、コレステロールや血糖値を低下させる働きがあります。豆・野菜・きのこ・海草も食物繊維が多い食べ物です。

簡単スイートポテト 8個分

【材料】 ●さつまいも 300g ●生クリーム(牛乳でも)50ml
●バター・砂糖 各大さじ1ずつ ●卵黄適量

【作り方】

- ① さつまいもは皮をむき1cm位の輪切りにし、水にさらす。やわらかくなるまで蒸し、熱いうちにつぶす。
- ② つぶしたさつまいもに、生クリーム、バター、砂糖を入れ混ぜる。
- ③ アルミカップへ入れ、表面に卵黄をぬる。
- ④ オーブントースターの天板にのせ焼き色がつくまで(5～10分)焼く。

編・集・後・記

日増しに秋も深まり、朝夕は肌寒く感じます。秋祭りは、写真を中心とした構成にしています。印刷しているものは白黒ですが、ホームページでは、カラーで楽しんで頂けるよう努力しています。ご覧いただけたら幸いです。(医療相談室)

『あおぞらだより』に関するご意見・感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511 (代)
<http://www.edogawa-hp.com>

脳トレの答え：①かぶ②ちんげんさい③いんげんまめ④ごぼう⑤にんにく⑥ほうれんそう⑦とまと⑧ぱせり